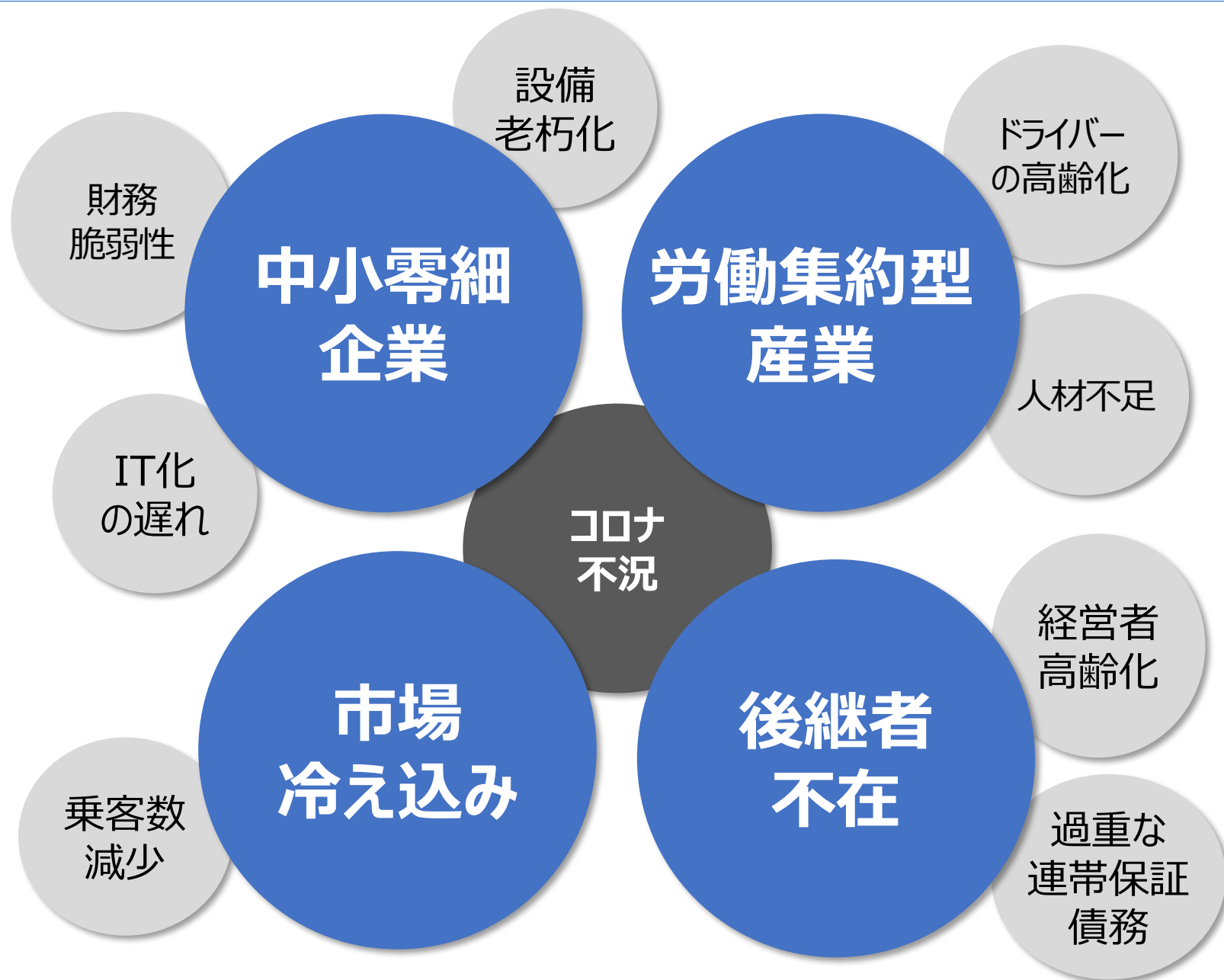


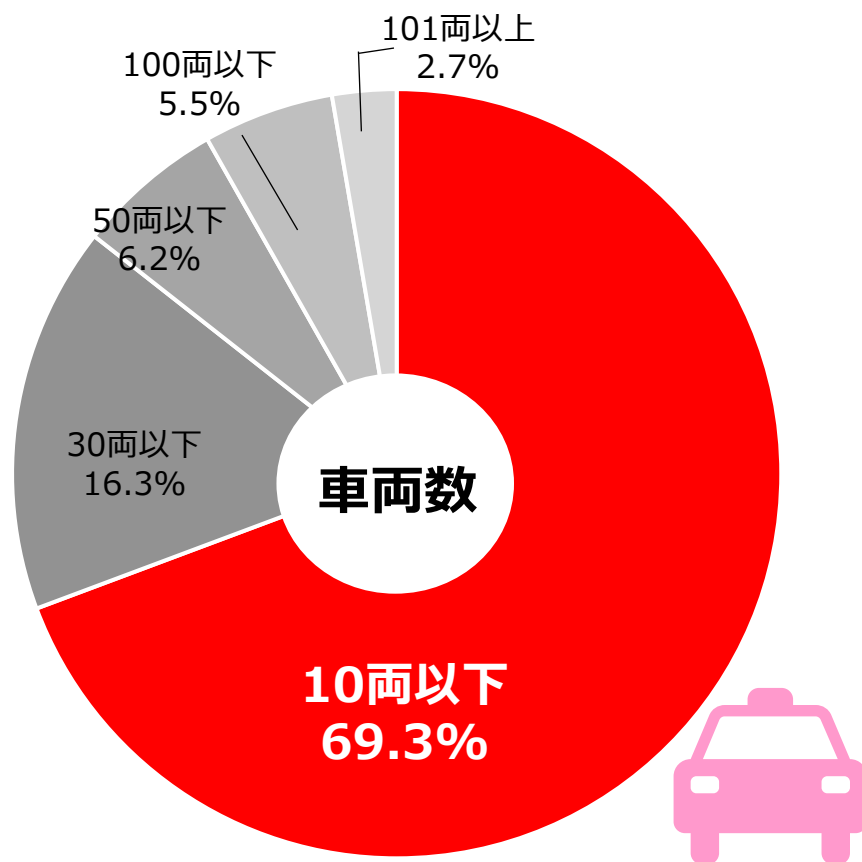
タクシー会社10社合併 その先は・・・



2021年5月11日



タクシー業界は零細企業の集まり（車両数）

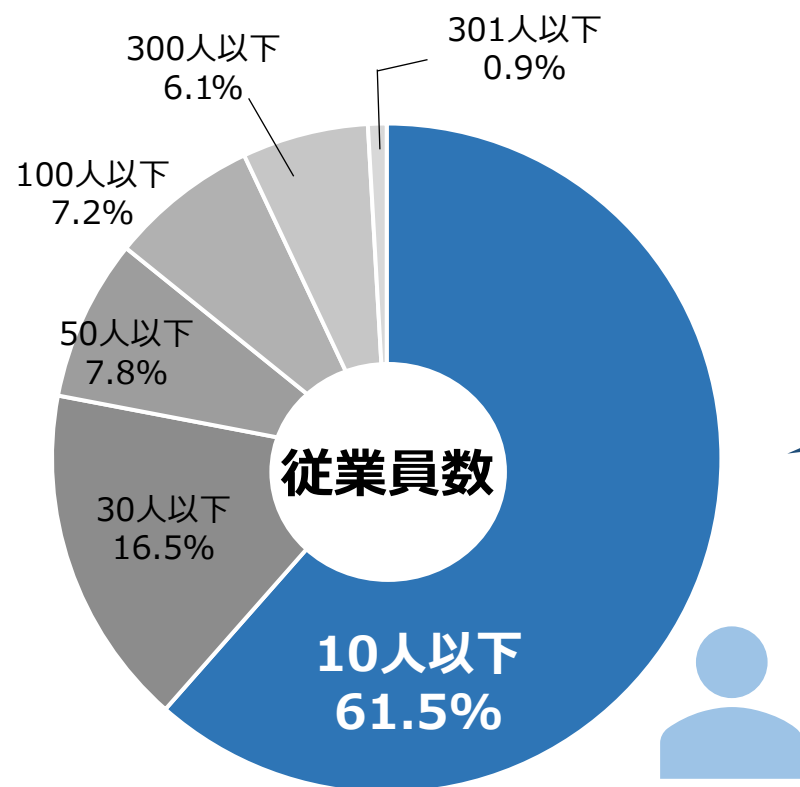


法人統合計100%（16,695社）

車両10両以下
約70%

出典：全国ハイヤー・タクシー連合会資料（2020年）

タクシー業界は零細企業の集まり（従業員数）

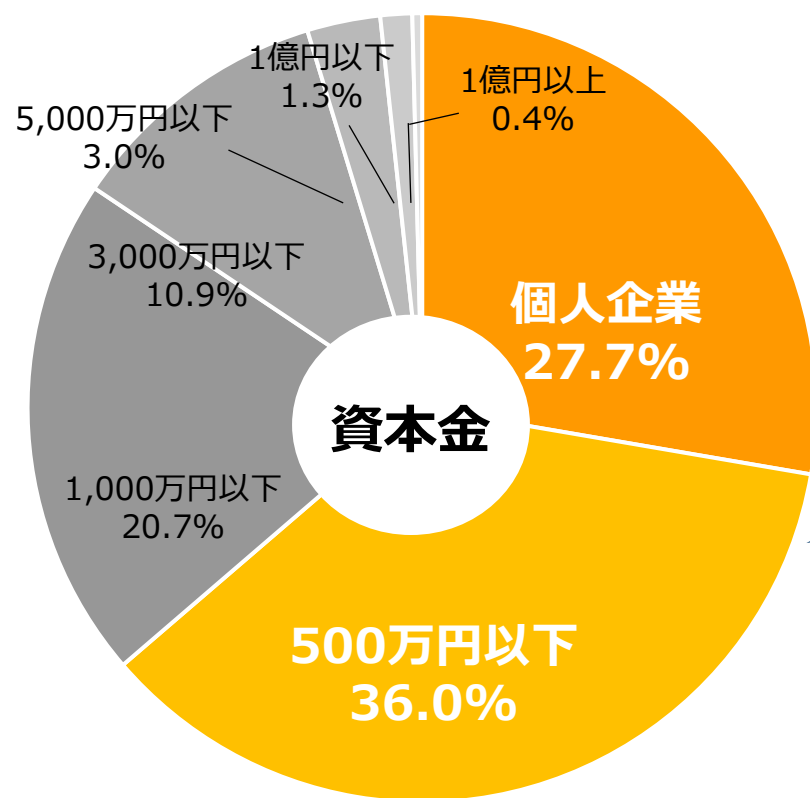


社員10人以下
約62%

法人統合計100%（16,695社）

出典：全国ハイヤー・タクシー連合会資料（2020年）

タクシー業界は零細企業の集まり（資本金）

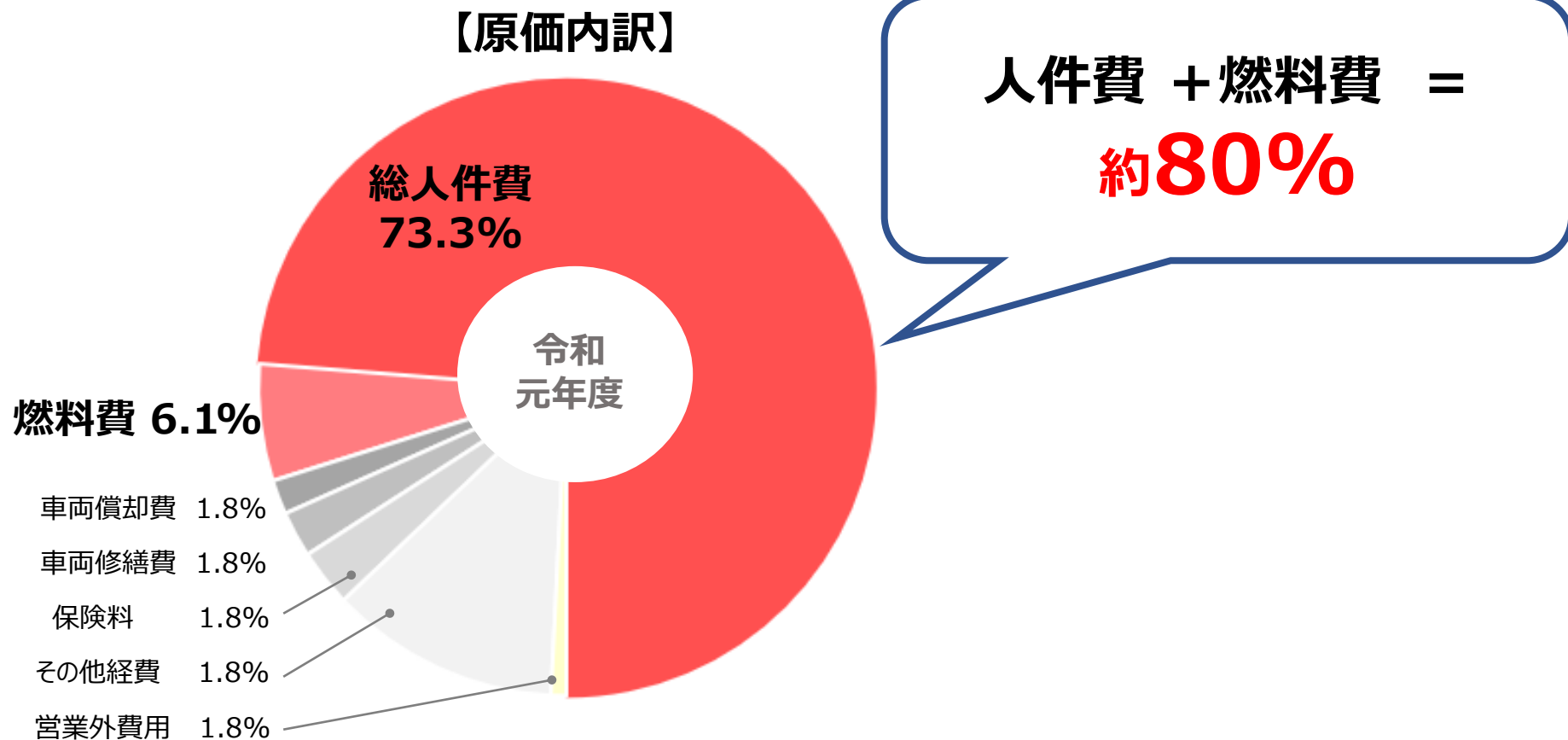


個人企業及び
500万円以下
約64%

法人統合計100%（16,695社）

出典：全国ハイヤー・タクシー連合会資料（2020年）

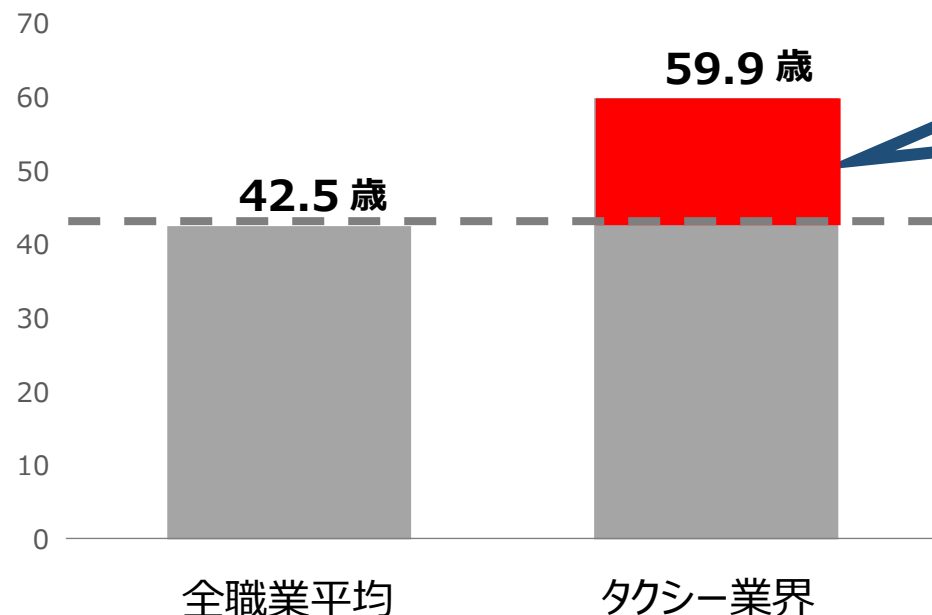
タクシー業界は労働集約型産業



労働者の高齢化が課題

人手不足も
課題

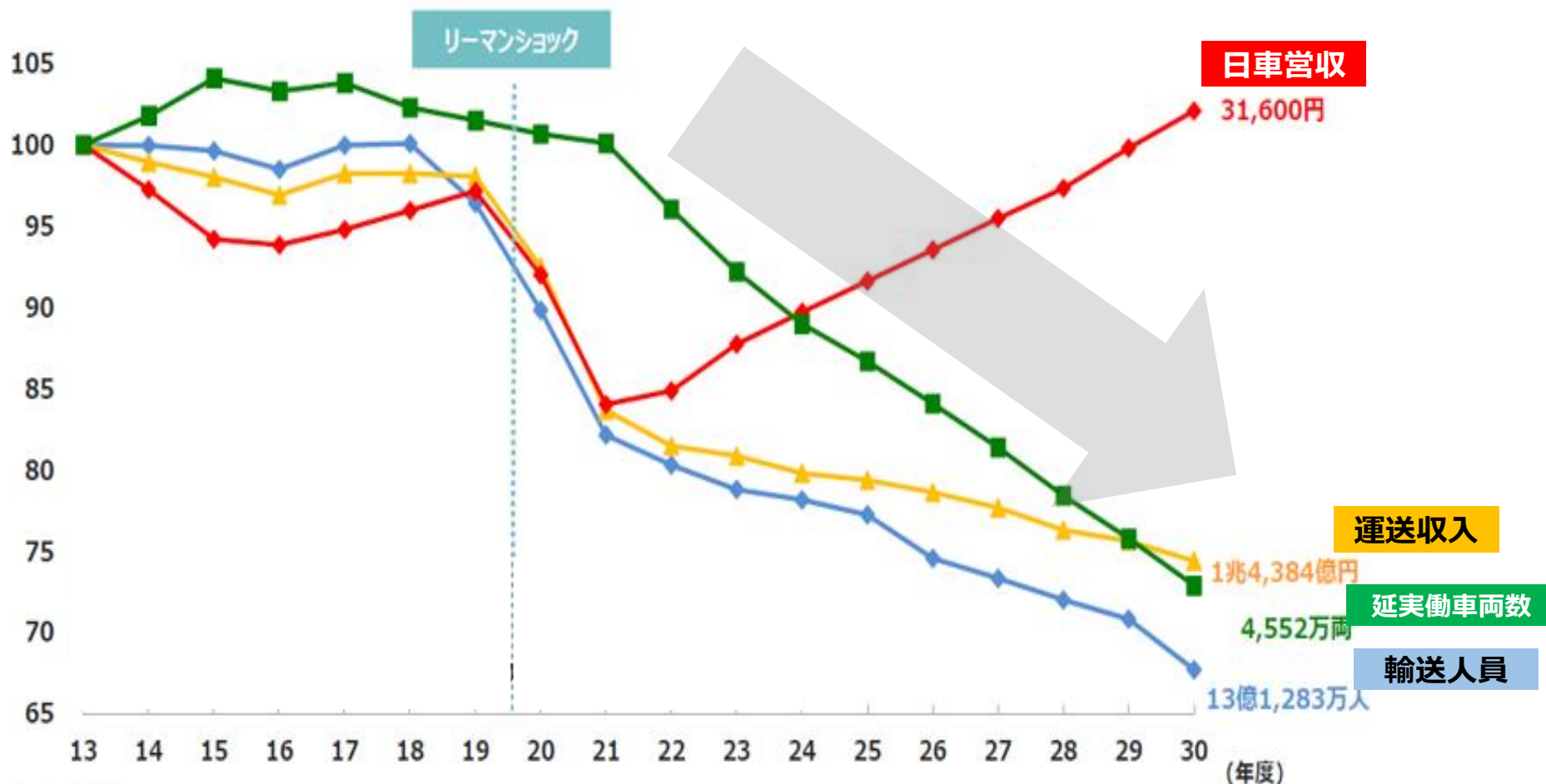
労働者平均年齢の比較



タクシー業界は
平均年齢が
約17歳高い

市況に伴い運送収入は減少

【全国のタクシー指標の推移】



出典：国土交通省「タクシー事業の現状について」

タクシー業界の課題を考慮すると、
各社**単独での生き残りは厳しい状況**



日本の多くの企業が同様に抱える課題に対
する解決策のひとつとして、
「**知恵**」と「**資金**」と「**熱意**」を結集する今回の
タクシー**連合の組成**を考えた



肥後グループ°

役 員	野々口 弘基 他
保有車両	197台
従業員数	203名
事業区域	熊本交通圏 天草交通圏 阿蘇交通圏 人吉・球磨エリア
強 み	貸切、VIP送迎、派遣、管理業
事業会社	肥後タクシー株式会社 安全タクシー株式会社 株式会社三和タクシー 株式会社産交ポニータクシー 株式会社一の宮タクシー 株式会社りんどうタクシー 人吉タクシー株式会社



ミハナグループ°

役 員	森 泰司、小山 剛司 他
保有車両	133台
従業員数	200名
事業区域	熊本交通圏 菊池市エリア
強 み	一般乗用、観光
事業会社	株式会社ミハナタクシー 株式会社産交タクシー 菊熊タクシー株式会社

【持株会社】

令和3年1月8日設立

地域交通ホールディングス



TaKuRooの管理、参入企業の精査、地域交通の企画立案等

【完全子会社】

令和3年4月1日～稼働



TaKuRoo



合併

タクシー、その他周辺事業に専念

～令和3年3月31日

肥後グループ
(全7社)

ミハナグループ
(全3社)

株式会社地域交通ホールディングス

役職	氏名	旧所属会社
代表取締役	野々口 弘基 (ののぐち こうき)	肥後タクシー 株式会社 安全タクシー 株式会社 株式会社 三和タクシー
取締役	森 泰司 (もり たいし)	株式会社 ミハナタクシー 菊熊タクシー 株式会社
取締役 (社外)	上杉 徹也 (うえすぎ てつや)	株式会社 地域経済活性化支援機構
監査役	岡野 訓 (おかの さとる)	税理士法人 さくら優和パートナーズ 株式会社 優和コンサルティング

株式会社TaKuRoo

役職	氏名	旧所属会社
代表取締役社長	小山 剛司 (おやま つよし)	株式会社 産交タクシー
専務取締役	池田 光男 (いけだ みつお)	人吉タクシー 株式会社 一の宮タクシー 株式会社 株式会社 りんどうタクシー
常務取締役	今村 英敏 (いまむら ひでとし)	株式会社 産交ポニータクシー
監査役	梅元 昭宏 (うめもと あきひろ)	梅元税理士事務所

①持株会社と事業会社の二層構造

(持株会社) 事業会社の管理 (ガバナンスの強化)
参入企業の精査
地域交通の企画立案等

(事業会社) タクシー事業に専念

②対象地域を県内一円

交通圏の異なる地域も合併対象



■ 業務の効率化（主にシステム入替に伴うもの）

- ・配車システムの一元化により、配車時間の短縮(顧客満足度も向上)
- ・リアルタイムでの車両動態管理により、機動的な営業戦略決定
- ・AI活用需要予測により効率営業
- ・最先端IT点呼システム(※)により安心・安全を確保
- ・経理・事務処理の一括管理により、迅速かつ正確な処理を実現

■ 経費圧縮

- ・**拠点集約**により家賃・光熱費等の固定費削減
- ・**事業処理のシステム化・一括管理**による人件費削減（会社都合**退職勧告はなく、配置転換のみ**）
- ・**労働条件の統一化**による人件費削減

【統合効果（費用面）】

業務効率化及び経費圧縮により、合併前費用と比較した場合に
合併後3年間累計▲約5億円（費用総額の10%弱）の削減
を見込む

■「地域の足」の確保

・バス・電車が整備されていない地域での公共交通としての役割

・交通弱者への対策

・多様な交通サービスの提案（TaaS ➡ MaaSへ）

・ファースト・ラスト1マイルの強化



■後継者不在企業の「受け皿」

・従業員の雇用維持

・地域経済への貢献（廃業阻止）

・TaKuRooとの連携方法の多様な選択肢（共同配車、業務提携、資本提携、合併等）

公共交通事業者として県民の移動の支援 県内各地域への**組織の拡大**

※他社を圧迫しない拡大 → 多様な連携(独禁法の問題)



タクシーのみならず**他の交通モードとの連携**
MaaSへの実現へ向けTaaSから

※熊本から他地域へ・・・？

TaKuRoo : タクシー事業の発展を模索

地域交通HD : 周辺事業・他業界との連携を模索

地域経済・顧客

大学・政府・官公庁・研究機関・経済団体 等



タクシー業界

提案・要望

連携を模索

各種モビリティサービス

地域交通ホールディングス

持分 100%)

【周辺事業】

提携（業務・資本）

NEW



【タクシー事業】

TaKuRoo

合併

NEW



提携

（業務・資本）

NEW



ご清聴ありがとうございました

